



幸手の自然とわたしたち

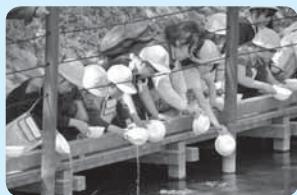
幸手小学校

失われつつある自然環境、そして、それらにふれる機会の減少。これらは、幸手市・本校児童においても例外ではありません。

そこで、3・4年生の総合的な学習を中心^に幸手市の自然環境を調べる活動・自然にふれる活動・自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを知り、自然にふれることの楽しさを経験し、自然を守ろうとする姿勢を育もうと取り組んでいます。

▼3年生／「発見、たんけん、幸手じまん！」

活動の一つに権現堂桜堤にある池への稚魚の放流があります。NP0 法人幸手権現堂桜堤保存会のみなさんの協力を得て、実施しています。



▼4年生／「自然の中で学ぼう！」

《田んぼの妖精(ホウネンエビ)に会いましょう》と題した環境講座をさって市民環境ネットのみなさんの指導で実施しています。



そのほかにも、ひとり一鉢運動や学校ファームの開設など、全校で自然に向き合っている本校です。



葉桜の小昏木した 歩み来て はつなつの風 光る早苗田	小澤六子・中二	燎原短歌会
まくらがの古河の 花桃咲く園に 長塚節の歌碑は 花びらを浴ぶ	喜多村和子・中五	
軍刀は 切れ味知るなく歳はれて 夫のヒロシマ	新井佐和江・戸島	
巨体鰯釣られおり	大内田登久子・千塚	
震災三年 なぜ今ここに なぜ今ここに なぜ今ここに	アシカショイ 幼がデビュース ぎこちなくほのぼのとして 笑いを誘ふ	「あ、ほたる」 友の指さす草むらに 光一すぢ引きて また闇